



県内梅雨入り



雨が降り出し、傘を差す人が目立ち始めた大分市
中心部＝17日夕、同市中央町、撮影・江藤成吾

過去4番目に遅く

福岡管区気象台は17日、大分県を含む九州北部が梅雨入りしたとみられると発表した。平年の6月4日より13日遅く、1951年の統計開始以降、4番目に遅い記録となった。偏西風の蛇行により前線が南西諸島からあまり北上しない日が続いたため、例年より遅れ込んだ。県内は20日から本格的な雨になる見通しで、大分地方気象台は「災害に対する心構えを高めてほしい」と呼びかけている。

大分市中心部は17日夕に雨が降り出し、傘を差して家路に就く人たちが、傘を
持たず足早に歩く人の姿が
見られた。
府内町のトキハ本店前で
バスを待っていた同市上宗
方の会社員安東さつきさん
(48は「雨の日は足元が濡

県内の梅雨入りが遅かった年

	入り日	明け日
1	2019年 6月26日	7月25日
2	1967年 6月22日	7月16日
3	2017年 6月20日	7月13日
4	2024年 6月17日	—
4	1969年 //	7月15日
	平 年	6月4日 7月19日

※2024年は速報段階

(牧里保子)

県内で最も梅雨入りが遅かったのは2019年の6月26日。昨年は5月29日だった。平年の梅雨明けは7月19日。

「入りは遅かったがすぐに梅雨本番を迎えそう。大雨への備えを十分確認してほしい」と注意を促す。

大分地方気象台によると、太平洋高気圧の勢力が強まった影響で、梅雨前線が九州北部まで押し上げられた。18日午後からは前線の活動が少し弱まるため晴れ間がのぞくものの、20日から再び活発化して雨量が増え、地盤が緩む恐れもある。

「入るのが憂鬱。ただ、今まで雨が少なかったので、家の畑にとってはありがたい」と話した。

〔問①〕 6月17日、大分県が梅雨入りしたとみられると発表されましたが、1951年の統計開始以降、何番目に遅い記録となりましたか。

〔問②〕 大分県が最も梅雨入りが遅かったのは、何年の何月何日ですか。

〔問③〕 九州北部とは？ 県を挙げよ。

〔問④〕 梅雨本番を迎え、大雨への備えが必要です。どういったことに気を付けるべきですか。